

ネットイーグル

制作金物のCAD/CAM実現へ

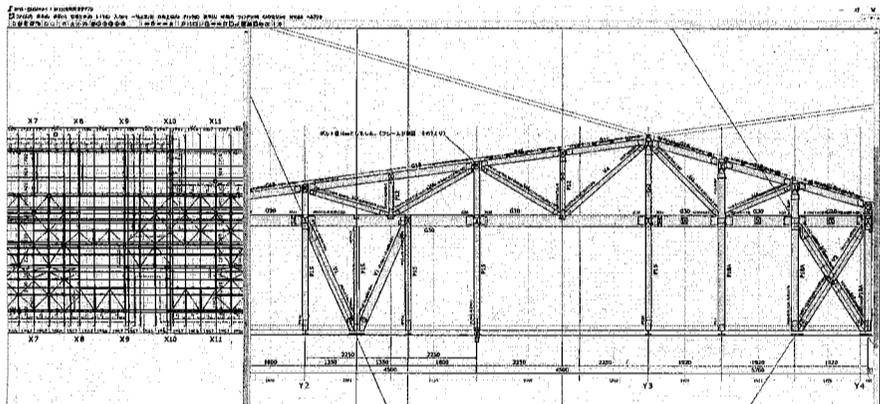
大断面プレカットの合理化推進

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は非住宅大断面对応の構造プレカットCAD「XF15」で、大断面集成材の加工だけでなく、製作金物の設計まで自在にできるように機能を拡張した。大断面集成材を使った大型木造建築は、システムとして標準化された工法を別にして、金物から材料まで個別の設計に合わせた受注生産となり、コストが高くなりがちだった。プレカットCADで金物の設計から材料の加工までデータを一元的に生成できれば、設計から金物の製作、材料の加工まで大幅な合理化が期待できる。今後は鉄板から製作金物を切り出すレーザー加工機とCADデータを連動させ、製作金物のCAD/CAM製造も実現させる計画だ。ここに至れば、製作金物の大断面プレカットは合理化の当面の到達点を迎える。

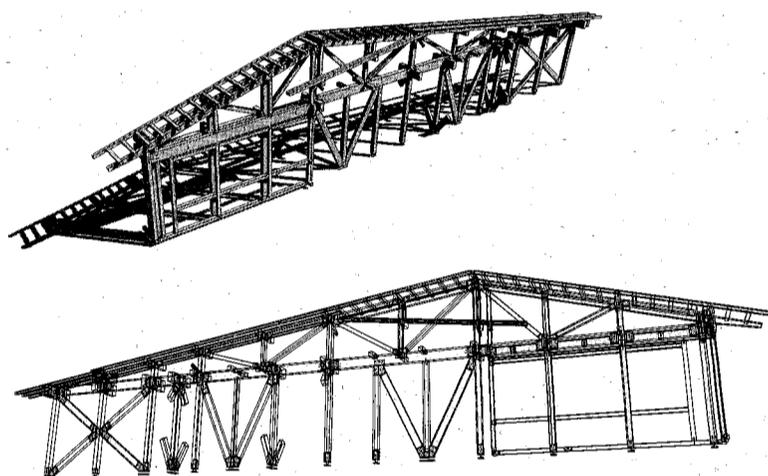
断面図入力などの特徴
大きな特徴は①断面図から入力できるため、平面図では入力できないような複雑な架橋も容易に入力できる②設計した図面は施工図に変換できるため、一から図面を起こす手間が省け、修正が入っても即座にデータが反映される③計算タイプマスターにより、どんな角度、形状の接合部でも自動で計算して金物を設計できる④マスターにない複雑な形状の金物も複数の金物を組み合わせる「合体処理」で作る「合体処理」(特許出願中)により、自在に設計できる。

既に大断面材を加工できる特殊加工機(CAD/CAMプレカッター)の登場により、大断面材のプレカットは大幅な合理化が進んでいる。だが、現状は金物の製作に時間がかかり、加工データが空回りしている。大断面材のプレカットは、CAD/CAMで製造できるような金物があれば、CADでマスターを作成し、レーザー加工機で導入してあり、XF15と連動させる計画が進められている。実現すれば、工期短縮、コスト低減により、普及に大きな弾みがつく。

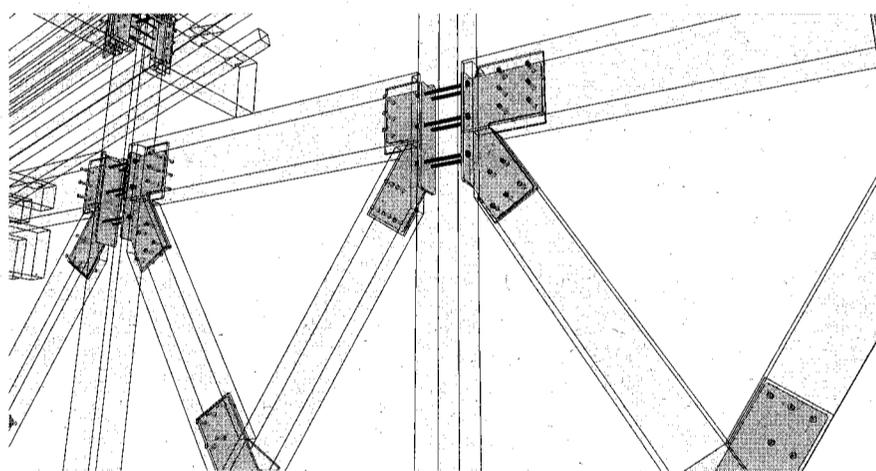
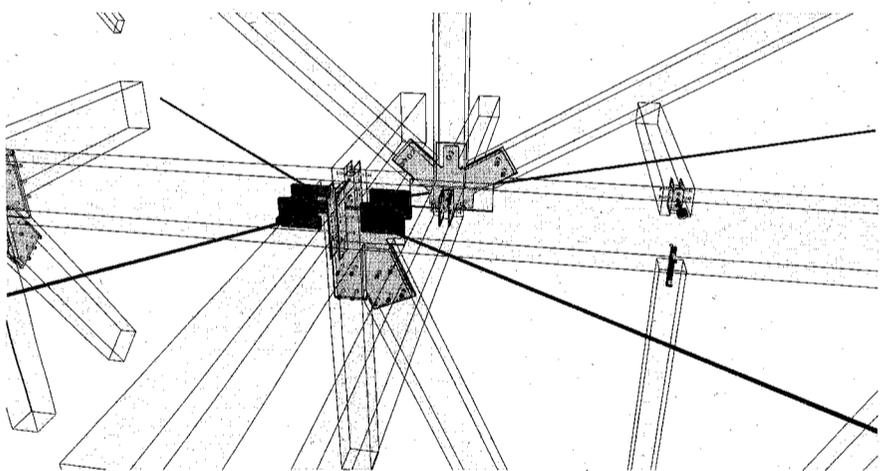
非住宅も住宅並みの合理化
非住宅・中大型木造建築は、一般流通材をペレーターの負担も減らすなどの工法の開発が活発で、一般のプレカット工場でも受注機会が容易になる(同社)。



業界初の断面図入力で複雑な架構も容易に。軸組断面図は2次元CAD「2Dマネージャ」で施工図として製図できるが、DXFデータを出力し、汎用CAD(JW-CAD等)に変換して施工図を作れる

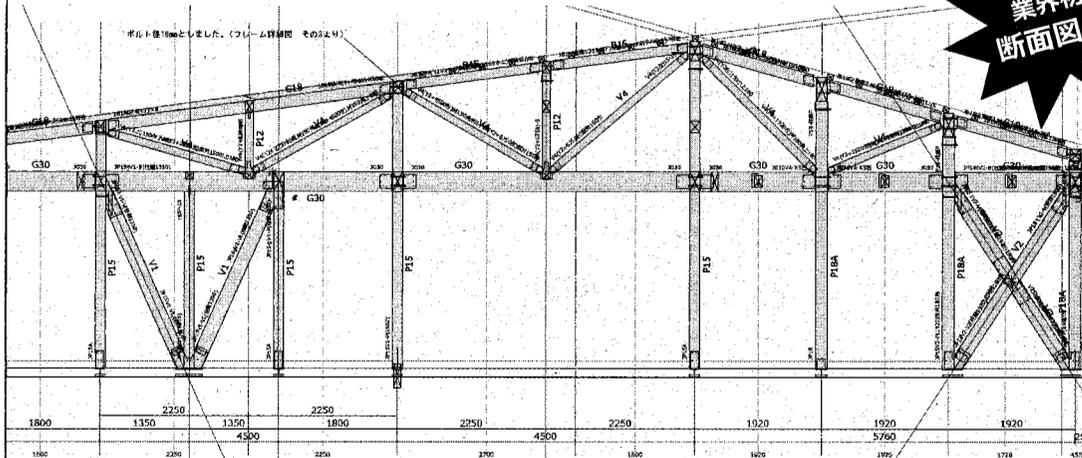


3次元パースであらゆる角度から収まりを確認できる



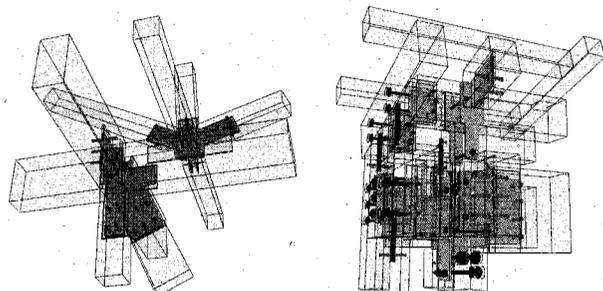
任意の接合部を選択すると、その部分で拡大表示できる

問われる「総合力」、差別化へ



非住宅 大断面 構造プレカットCAD
OPEN-NET XF15

木材利用促進法 → 住宅から非住宅分野へ



NET EAGLE
ネットイーグル株式会社
<http://www.neteagle.co.jp>

本社
〒819-0001
福岡市西区小戸
3-54-50
050-3536-5961

中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町
朝日165 ナガタビル3階
050-3538-0221

東京CADセンター
〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-4
オーゼネクスサス芝浦5階
050-3533-2894